

【五戸町教育委員会】

校務DX計画

1. 「校務DXチェックリスト自己点検結果」における課題等について

「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリストの自己点検結果」（文部科学省令和5年11月実施）を数値化した結果では、職員会議でのペーパーレス化や統合型校務支援システムの活用、オンラインを活用した研修などでは一定の成果が見られたものの、学校から家庭への紙文書の配付や提出文書に押印や署名を求めていること、クラウドサービスを活用した保護者との連絡体制の充実等が課題となった。

当町では、令和6年度から学校向け保護者連絡サービスを導入し、教員と保護者間の連絡（出欠連絡、学校からの配布文書等）をデジタル化した。教員間においては、同年度に校務支援システムを導入しており、伝達事項、各種資料及び教材をオンラインで共有している。そこで、以下の2～3を重点取組事項とし、校務DXを推進するものとする。

2. GIGA環境・汎用アプリ・ツールの一層の活用

学校と保護者双方の負担軽減を目的に、学校からの文書配付や保護者からの参観日等の出欠届や各種アンケートへの回答などを可能な限り汎用アプリや汎用クラウドツールを活用したものに變更していく。そのためにも、教務主任やICT担当者等の研修会を活用して、校務における効果的な活用の好事例を共有し、汎用アプリ・ツールの活用を推進していく。

3. FAX・押印・署名の見直し

町内全ての学校においてFAXが使用され、一部押印・署名が必要な書類のやり取りが行われている。校務の更なる効率化のためにも、FAXや押印等についての制度・慣行の見直しを行うとともに、各学校のFAXでの送付や押印を求めている関係団体・事業者等を把握し、制度・慣行の見直しを図るよう働きかけていく。

4. 今後の計画目標

- 汎用アプリ・ツール活用に係る研修の実施（令和7年度～）
- FAX・押印・署名の見直しに向けての実態把握（令和7年度～）
- FAX・押印・署名の見直しに向けて関係団体への働きかけ（令和8年度～）